



平成29年度 仙北市 成人式

仙北市成人式が仙北市民会館で8月15日に開催されました。今年の新成人は平成28年4月2日から平成29年4月1日までに生まれた230人が対象です。式では、新成人の鈴木知佳さんが司会を務め、成人者を代表し田口翔太さんに成人証書が授与されました。また、誓いのことばとして、赤倉匠さんが「現在は仙北市で消防士として働いている。生まれ育った地元に戻ることができるよう精進していきたい」、平鹿昇太さんが「たくさん思いがある。今は社会人として大仙市で働いている。まだ未熟だが経験を重ねて努力していきたい」、田口壘さんが「日々のニュースに不安を感じるが、社会人として生きていかないといけない。今は東京で働いているが、仙北市が好きなのでいつか戻り、自分の店を持ち、笑顔あふれる場所をつくりたい」と述べました。



「誓いのことば」で、将来の抱負を述べた赤倉匠さん、平鹿昇太さん、田口壘さん（左から順番に）。



成人を代表して、田口翔太さん（右）に門脇市長（左）から成人証書が授与されました。



ドローンの操縦歴は約2年という播磨さん。

ドローンの普及を図る 地域おこし協力隊 播磨靖之さんが着任

仙北市で5人目となる地域おこし協力隊の播磨靖之さんが8月1日、着任しました。現在は、田沢湖庁舎の地方創生・総合戦略室に籍を置き、小型無人機「ドローン」など近未来技術を活用した地域づくりに取り組んでいます。播磨さんは兵庫県出身です。播磨さんは兵庫県出身。協力隊として着任前は、秋田市のスポーツ用品店に勤務。秋田ドローンコミュニティーの一員として仙北市を訪れているうち、地方創生特区の事業に関心を持つようになったそうです。播磨さんは「手のひらサイズのドローンもあるのですが、子どもたちに身近に触れる機会を提供し、普及を図りたい」と話していました。



記念シンポジウムでは、東北大学大学院の教授たちが登壇。温泉水から水素を製造する研究やレアメタルを抽出する研究などについて紹介しました。

仙北市と東北大学大学院が連携協定

8月1日、仙北市が東北大学大学院環境科学研究科と連携協定を締結しました。この締結により、今後は同研究科の関係者が市内の資源を活用して研究を進めたり、小中学校を対象に出前授業や市民向け講演会を開催していく予定です。市田沢湖総合開発センターで行われた締結式には、門脇光浩市長と同大学院環境科学研究科の吉岡敏明研究科長などが出席し、青柳宗五郎市議会議長の立ち会いで、それぞれ協定書に調印しました。

門脇市長は「次世代に貢献できるように産業や教育面の資源を掘り起こしたい。市内にラボの設置も検討してほしい」と話しました。また、吉岡研究科長は「工学、理学、社会学の文理融合の研究科であり、研究を進めるうえで、地域の協力が欠かせない。強い結びつきで成果を上げていきたい」と話しました。引き続き、記念シンポジウムが開催され、同大学院の3人の教授が登壇。市民など約1000人が講演に耳を傾けていました。

地域の安全を守る防犯灯を寄贈

8月10日、東北電力大曲営業所とユアテック角館営業所のご厚意により、仙北市にLEDの防犯灯20基が寄贈されました。両社は、大曲仙北地域の自治体に防犯灯を以前から贈っていました。東日本大震災の発生以降は一時中断しており、昨年から活動を再開しています。目録をいただいた門脇市長は「防犯灯の設置を求める要望が多く、大変ありがたい」とお礼を述べました。



東北電力大曲営業所の千葉所長（左）とユアテック角館営業所の工藤所長（右）から門脇市長（中央）に目録が手渡されました。

橋本左武郎さん 東北管区防犯功労者 表彰



東北管区防犯功労者表彰を受賞した橋本左武郎さん。「高齢化が進み、交代するにも若者が少ないが、次世代につなげていきたい」と話していました。

橋本左武郎さんが東北管区警察局長と東北防犯協会連絡協議会より安全安心な地域づくりに貢献されたとして表彰され、8月7日、仙北警察署長より伝達を受けました。橋本さんは、昭和48年から西木村防犯連絡員として地域防犯活動を積極的に推進。平成18年に仙北市防犯協会松木内支部長、平成28年4月に仙北市防犯協会会長に就任して以降、市内防犯活動のリーダーとして、安全安心なまちづくりに貢献されています。また、西木村消防団副団長や仙北市消防団長を務めた経験もあり、地域の安全確保に貢献されています。

第47回 たざわ湖・龍神まつり



田沢湖畔で元気にミニ龍みこしを担ぐ子どもたち。

「第47回たざわ湖・龍神まつり」が8月10日、田沢湖白浜・おまつり広場で開催されました。会場には多数の屋台が軒を連ね、特設ステージで音楽祭が行われるなどお祭りムード一色。

今年は初の試みとして、田沢湖・八郎湖・十和田湖に伝わる辰子姫と八郎太郎の「三湖伝説」をもとに、仙北市、潟上市、鹿角市の子どもたち約50人が2体のミニ龍みこしを担いで、会場や湖畔を練り歩きました。龍みこしには、潟上市の八郎まつりで使っているミニ八郎太郎龍とJR田沢湖駅に展示しているミニ辰子龍を使用。田沢湖龍神太鼓保存会による太鼓の演奏に合わせ、威勢のよいかげ声とともに、龍みこしをくねらせ乱舞しました。



辰子姫と八郎太郎に扮した西木町出身の伊藤奈葉さん(右)と阿部晃之さん(左)。神事で湖の無事故を祈りました。

伝統芸能 角館のささら舞



3体の獅子が勇壮に舞う
8月15日、角館地区で「ささら舞」が昼の部、夜の部の2回にわたり行われました。「ささら」は、佐竹家が常陸から秋田に国替えになった際に伝えられたとされ、400年以上の長い歴史を持つといわれています。昼の部は、角館樺細工伝承館で広久内ささらが、白岩雲巖寺で白岩ささらが、それぞれ勇壮な舞を披露し、訪れた観客を魅了していました。



迫力あるささら舞に観客は見入っていました。

田沢湖駅前広場夏まつり



駅前の賑わいを創出
8月15日、JR田沢湖駅前広場で「第3回田沢湖駅前広場夏まつり」が開催されました。この催しは、こまちの会(村上陽子会長)が駅前を活性化しようとしているものです。当日は親子で楽しめる「ミニミニ梵天作り」や自慢のものを披露する「カラオケ大会」、地域の伝統行事である梵天や梅沢ささらなどが次々と披露され、多くの観客を楽しませていました。



ミニミニ梵天作りは大好評でした。

第11回全国和牛能力共進会(全共)秋田県最終予選会の種牛の部が6月27日に由利本荘市大内・あきた総合畜産市場で、肉牛の部が7月26日に大仙市神宮寺・秋田県畜産試験場で開催されました。種牛の部では田口春美さん(西木町小山田)が出品した「ひまり号」と相馬勲さん(角館町白岩)が出品した「第86うるしばら号」が、肉牛の部では伊藤則夫さん(西木町上荒井)が出品した「雪国82号」と「松華号」が秋田県代表で選ばれました。「第86うるしばら号」は佐藤操さん(西木町門屋)産、「雪国82号」は相馬吉雄さん(角館町白岩)産、「松華号」は高橋拓治さん(角館町広久内)産と、市内産の牛が選ばれています。「ひまり号」「第86うるしばら号」

「雪国82号」は、前回の長崎全共で第2位に輝いた「義平福号」の産子です。この3頭が出品される「総合評価群(第7区)」は、父牛(秋田県は義平福号)の種牛能力と産肉能力を総合評価する区で、全共での花形ともいえる出品区です。「松華号」が出品される「若雄後代検定牛群(第8区)」は、前回の長崎全共で「義平福号」が第2位に輝いた出品区です。全共に向けては、月に2回程度、種牛の部の代表牛が集合して、エサの与え方やシャンプーの仕方、立たせ方、歩かせ方などの調教技術について研修を受けています。宮城全共は、9月7日から11日まで宮城県仙台市・夢メッセみやぎで開催されます。



「第86うるしばら号」と相馬勲さん。



「ひまり号」と田口み子さん。全共では、奥さんのとみ子さんが引っ張ります。



調教研修会の様子。大仙市、由利本荘市の牛、農家とオール秋田で頑張ります。

全国和牛能力共進会秋田県最終予選会

第21回 戸沢氏祭

8月16日、松木内川河川公園を主会場に戸沢氏祭が開催されました。お家行列では、真山寺で出陣祈願を行ったあと、門屋城址を経由して松木内川河川公園まで練り歩きました。殿様役を務めた門脇慧治さん(西木町出身)は「その年で一人しかできない貴重な経験ができてよかった。地元につつましく残っているの、若い人たちが戸沢氏祭をもっと盛り上げていきたい」と話しました。主会場では、盆踊りや新潟県の佐渡ヶ島潟上鬼太鼓、灯笼流しなど様々なイベントが行われ、最後は花火大会で大勢の方を魅了しました。



戸沢氏祭といえば「お家行列」。真山寺で出陣式を行い、門屋城址を経由しながら主会場となる松木内川河川公園までゆっくりと歩きました。



読み聞かせボランティア「ひまわりの会」 「秋田県子ども・子育て支援」知事表彰を受賞



教育委員会に受賞報告に訪れました。右から熊谷徹教育長、ひまわりの会の伊藤厚子副会長、橋本敦子副会長、西木公民館の山田且也館長。

西木公民館を拠点に活動している読み聞かせボランティア「ひまわりの会」(杉本桂子会長)が8月10日、「秋田県子ども・子育て支援」知事表彰を受賞しました。ひまわりの会は、平成12年に結成。現在の会員は11人で、市内の子どもたちや高齢者などを対象に、大型紙芝居の読み聞かせを行っています。長年にわたる活動の秘訣を伺うと「無理しないで頑張ること」と、伊藤厚子副会長は話します。

ひまわりの会では、随時会員を募集していますので、興味のある方はどなたでもご連絡ください。お問い合わせは西木公民館(☎47-3100)まで。

8月3日から5日に山形県で開催された「第40回東北中学校柔道大会」で、角館中学校の選手が活躍しました。入賞者は次のとおり。(敬称略)

▽写真右:
女子57kg以下級
準優勝 松本唯(3年)

▽写真左:
男子55kg以下級
第5位 児玉文汰(3年)

なお、女子57kg以下級の松本唯選手は、8月22日から25日に福岡県(会場:福岡国際センター)で開催される「第48回全国中学校柔道大会」に出場します。



第40回東北中学校柔道大会
角館中学校の選手が入賞

レッツ! チャレンジ健やか
クッキング教室

8月2日、生保内小学校で小学生と保護者を対象に『レッツ! チャレンジ健やかクッキング教室』が開催されました。この教室は、仙北市食生活改善推進協議会が、食事づくりの体験を通して「食」に対する興味や関心を育み、親子で一緒に調理し「食べることの楽しさ」を実感してもらおうと行われたものです。児童たちは、食生活改善推進員や保護者と一緒にデコレーション寿司などを調理・試食したほか、食べ物についてのお話やクイズなどを楽しみながら食事の大切さについて学びました。



食生活改善推進員や保護者と一緒に、児童は牛乳パックを型に使ったデコレーション寿司など4品を調理しました。



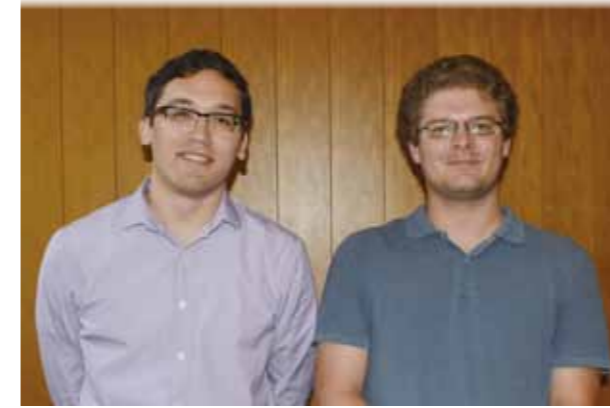
優勝したレイカーズの選手たち。

第12回仙北市長杯争奪野球選手権大会が、7月30日と8月6日の両日にわたり、落合、雲然の両野球場で、10チームが参加し熱戦を展開しました。決勝戦では「レイカーズ」(田沢湖地区)と「角館消防署」(角館地区)が対戦。中盤までは双方が譲らない僅差の試合展開でしたが、最終回に突き放した「レイカーズ」が優勝を飾りました。

個人賞は次のとおりです。(敬称略)
最優秀選手賞 齋藤亘(レイカーズ)
優秀選手賞 佐々木宏伸(角館消防署)
敢闘賞 佐々木光太(レイカーズ)

第12回仙北市長杯争奪野球選手権大会

新しいALTを紹介します



ワイルズ・マークさん(左)とイングラム・イーサンさん(右)。

このほど、市内の中学校で外国語の指導をするALT(外国語指導助手)として、新しくワイルズ・マークさんとイングラム・イーサンさんが着任しました。2人はアメリカ出身で、どちらも日本に来るのは初めて。マークさんは日本の四季や日本人の人情に魅力を感じて日本に来たいと思ったそうです。イーサンさんは大学で日本語を学び、日本の文化などに興味を持ったそうです。2人とも「仙北市は田沢湖や武家屋敷など見るところがたくさんあり、人も親切で素晴らしい」と話していました。マークさんは主に西明寺中学校と松木内中学校で、イーサンさんは角館中学校で生徒たちの英語の指導にあたります。

- Q & A
- ①氏名
 - ②年齢
 - ③出身国
 - ④出身地
 - ⑤担当校
 - ⑥来日回数は?
 - ⑦日本に来ようと思ったきっかけは?
 - ⑧日本に来る前は何をしていたか?
 - ⑨仙北市の印象は?
 - ⑩日本の好きなところは?
 - ⑪日本で行ってみたいところは?
 - ⑫日本の好きな食べ物は?
 - ⑬今後の抱負は?

- ①ワイルズ・マーク Wiles Mark
②35歳
③アメリカ
④テキサス州 ヒューストン
⑤西明寺・松木内中学校、白岩・西明寺・松木内小学校
⑥初めて
⑦親切な日本人に会いたかった
⑧弁護士
⑨とてもよい。祭りを見たい
⑩四季があるところ
⑪ジブリ美術館、東京、京都など
⑫ごはん、牛タン、そば
⑬日本文化と人について学びたい

- ①イングラム・イーサン Ingram Ethan
②27歳
③アメリカ
④イリノイ州 トレド
⑤角館中学校、角館・中川小学校
⑥初めて
⑦日本語が上手になりたかった
⑧大学院生
⑨見るところがたくさんあってよい
⑩文化、美術、食べ物
⑪富士山、だるま寺
⑫牛タン
⑬立派な英語の先生になりたい

民謡・民舞
秋田県連合大会
浅野沙樹さんが優勝

7月29日、日本民謡協会の「民謡・民舞秋田県連合大会」が大仙市協和で開催され、浅野沙樹さん(仙北市出身・秋田中央会所属)が、7組の部門優勝者で競い合う協会賞争奪戦で優勝しました。浅野さんは「秋田



総合優勝した浅野沙樹さん。

長持唄」を歌い、民謡青年の部で優勝。協会賞争奪戦でも堂々とした歌声を披露し、総合優勝を果たしました。今後は、来年に東京都で開催される全国大会に出場が決定しており、活躍が期待されます。

第9回秋田県小学生野球大会
西木 Jr.B.C が初優勝

7月29日から31日まで、あきたスカイドーム(秋田市)で開催された「第9回秋田県小学生野球大会」で、西木 Jr.B.C(ジュニアベースボールクラブ)が全県優勝を果たしました。西木 Jr.B.Cは、西明寺小と松木内小の合併チーム。22チームが参加した今大会では、西木 Jr.B.Cが持ち前の攻撃力を活かし、順調に勝ち進みました。決勝では、花館ドッカーンズ(大仙美郷)を16対2の大差で下し、念願の初優勝を果たしました。今後は、10月に函館市で開催される北日本大会での活躍が期待されます。



市役所田沢湖庁舎に優勝報告に訪れたキャプテンの佐藤銀選手(右:西明寺小6年)と副キャプテンの武藤大翔選手(左:松木内小6年)。